

綾部移住希望者のための



ニニジハへの 教科書

vol.5



綾部で暮らしたいと
チラッとでも
考えたアナタに

あやべ市民新聞社

サバイバルできる



田舎に住んで「半農半X」を実践します。野菜やコメを自分で作って、薪を蓄えて薪ストーブで暖を取る。井戸も掘った。そうするともしもライフラインが断ち切られても生きていけるよね。トイレが流れなくなつても自分の山ですればいいんだ。通勤はマイカーだから帰宅難民というのもない。

里山力をつけるということはサバイバル能力も上がるということだね。安心感大きいよ。

都会では地震や台風のとき帰宅難民になつたり、お店の食料品もあつとう間になくなつたりしてコワくなることがあるたなあ。自分じゅ何もできないし、お力ネなんて何の役にも立たないんだもの。

コラム

田舎に住むということ



ここらの父ちゃん



※「半農半X」とは？

綾部市在住の塙見直紀氏が1990年代半ば頃から提唱してきたライフスタイルで、自分や家族が食べる分の食料は小さな自給農でもかない、残りの時間は「X」つまり自分のやりたいこと（ミッション）に費やすという生き方です。

何が言いたいかというとね、お店や企業に頼る度合いが小さくなるほど安心で豊かな暮らしができると思うわけ。それに、ここらは綾部に引越ししてからますます元気になつたよ。

綾部 あるある 体験談



すべてを網羅することば「お世話になります」。たとえば「クルマの移動をお世話になれますか?」といった具合に。綾部では重宝されている魔法のことばです。(Mさん)

ここらちゃん流〈移住のススメ〉

綾部に住むとこんなにいい！

都会と田舎、違うところはいろいろあるけど何と言っても人口密度が違う！都会ではマンションやニュータウンで隣近所が密接しているけど、綾部に来てから、ワタシが走り回ったり大声で歌ったりしたって「静かにしなさい」と言われないの！綾部出身のミュージシャンが「幼少期にお風呂場で風呂桶を叩きながら大声で歌ってた」ことが音楽の道につながってると話してたのよ。

ここらちゃん 親子で綾部に移住してきた女の子。
おでんばで自然の中で遊ぶの大好き。



移住立国って?



綾部市が移住促進のために
スタートさせたプロジェクト。



大げさな名前だなって？ そうですよ！



綾部のためだけのプロジェクトじゃないのです。

都市と地方の両輪がバランスよく
回らないと国は維持できない！

国のために
あるんだよ！

『移住立国』



綾部から！



住みやすそう

本気で
考えてみよう

行政

理念 予算 制度 許可

歓迎ムード
いっぱいの
綾部



接点

移住を
考えている人

人手 人材 企画 アイデア

市民、自治会、企業など

安心できるね

綾部すごい！

これやりたい

あれやりたい

綾部のみんなが
移住希望者を
心から歓迎して
いることを示す
んだ。



移住立国は綾部市と民間が
アイデアや力を出し合って進
めていくプロジェクトなのよ。



あやべ市民新聞

1983年に創刊した綾部を代表するローカルメディア。綾部市全域で販売され、市民に寄り添う新聞として幅広い世代に愛されています。

綾部のことだけ！

近所のおじちゃんは実はこんなことしてたのね！など身近だけど知らなかった話題が嬉しい。

4ページしかない！

隅までじっくり読めちゃう。広告までちゃんと目を通せば痒い所に手が届くかも！

折り込みは2枚！

折込チラシは多くて2枚。じっくり読めるよ。

広告主さんは、他の

広告に埋もれないのが大きなメリット。

地元の人が配ってる

新聞配達は地元の人が担う。「いつもありがとう」なんて声を掛け合うのもいいね。

週3回の発行！

月・水・金と週3日の夕刊、ポストを覗くのが楽しみになる。

番組表も載ってる！

テレビと地元ラジオ(FMいかる)の番組表が載ってる。いつも手の届くところに置こう！

次号をお楽しみに！



発行は毎週 **月・水・金** の夕刊

購読料は(税込み)

月 990 円

市外への発送もOK!

月 1,140 円

郵送料込み
送料の7割は弊社が負担

0773-42-1125

あやべ市民新聞

検索

(株)あやべ市民新聞社

〒623-0046 綾部市大島町沓田4-3